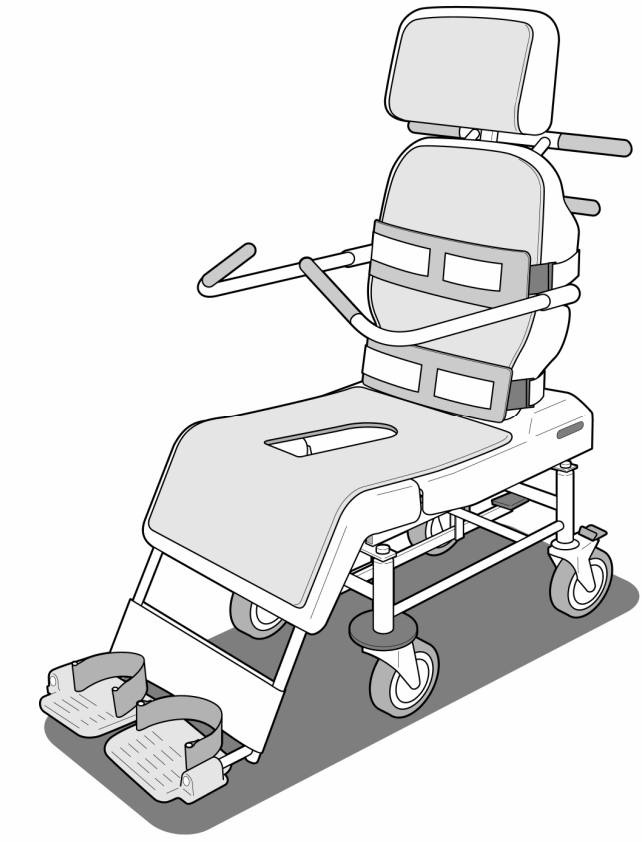
Rehabilitation SAKAI

取扱説明書

Liner Lift

入浴用車椅子

ＬＬ－３１９Ｃ



保存用

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

＊正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

01-128⑨H3

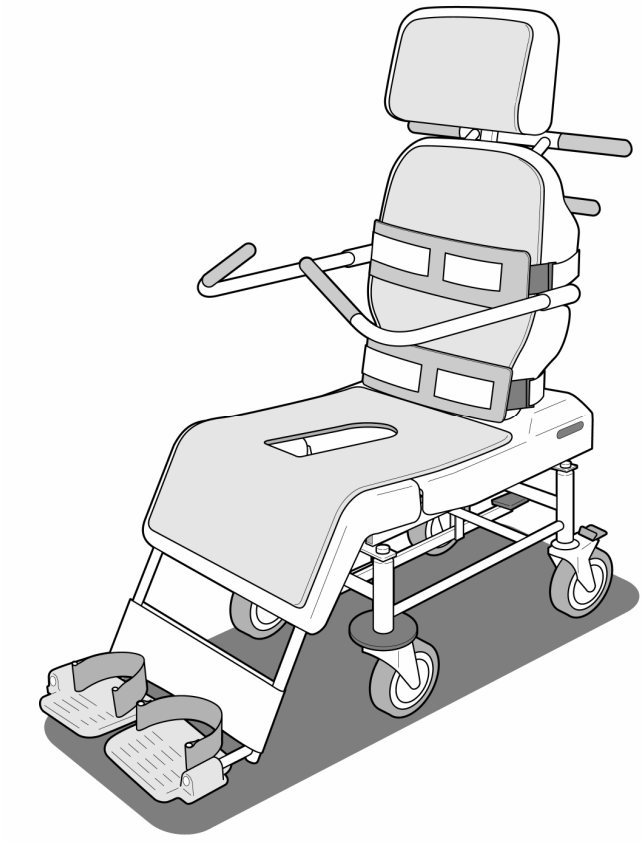
Rehabilitation SAKAI

取扱説明書

Liner Lift

入浴用車椅子

ＬＬ－３１９Ｃ



＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

＊正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

現場用

01-128⑨H3

もくじ

安全上のご注意 …… 3

各部の名称 …… 6

ご使用になる前に …… 7

- 適用製品 …… 7
- 本製品による入浴のできない方 …… 7

操作方法 …… 8

- キャスターのロック及び解除 …… 8
- 安全ベルト …… 8
- 入浴用車椅子の移動 …… 9
- 背当てを倒すとき …… 10
- 背当てを起こすとき …… 11
- 移動ストッパー解除レバー …… 11
- かかと受けカバー …… 12
- 手すりの操作 …… 12
- 枕の操作 …… 12
- 足受けベルト取付方法 …… 13
- 椅子上下の連結について …… 13
- 車椅子上の作業手順と注意点 …… 14

お手入れの仕方 …… 15

機器の保守・点検について …… 16

保証とアフターサービス …… 17

仕 様 …… 18

用途

本製品は、当社リフト式入浴装置『ライナーリフト(フロントアプローチタイプ)』(LL-310)専用の入浴用車椅子です。リフトと組み合わせて使用します。

特長

●リフトセット時のみ上下分離ができる安全機構

入浴用車椅子の上下分離は、リフトにセットしたときにのみ可能で、通常の洗い場等での車椅子操作時には分離できない構造になっています。

●手すり跳ね上げ式

入浴者が移乗しやすいように跳ね上げ式を採用しています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

車椅子での作業

⚠警告

移乗のときは、車椅子後部の浮き上がりに注意

座面に浅く座ると、車椅子後部が浮き上がり、入浴者が落下する恐れがあります。

入浴者をフットレストの上に立たせない

車椅子後部が浮き上がり、非常に危険です。

入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意

狭い入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら十分注意して作業を行い、洗身時はベルトを使用してください。

⚠注意

車椅子との接触に注意

入浴者の移乗のときや、車椅子から立たせた後に車椅子を移動させるときに、車椅子との接触で思わぬけがをする場合がありますので注意してください。

⚠ 警告

車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせる

握っていない手が浴槽との間に挟まれる恐れがあります。また、握っていないと上肢が車椅子の外側に出て入浴時などにけがをする恐れがあります。

握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。

車椅子に乗せたら、必ず２本の安全ベルトを使用する

ベルトをしなかったり、ベルトの固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

皮膚の弱い入浴者の場合接触部分にタオル等を使う

皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやマット角部等への軽微な擦れで皮膚がけがする恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなってけがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

リクライニング操作は、ゆっくりと

背当てを勢いよく持ち上げると、車椅子後方が浮き上がり、前に転倒する恐れがあります。

連結は赤いマークで確認すること

赤いマークが見える場合は、椅子上部をスライド台へ一旦戻して、椅子下部をリフトに確実にセットし直してください。

停止しているときは、必ず２つのキャスターをロックする

キャスターがロックされていないと、車椅子を移動した後や移乗・洗身・清拭時などに、車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

⚠ 注意

背当てとフットレストを操作手するときは手順に注意

背当てを倒すとき…手順を間違えると背当てが途中で止まり、ロックされないままになることがあります。リクライニングをやり直してロックを確認してください。

背当てを起こすとき…手順を間違えるとフットレストが途中で止まり、ロックされないままになることがあります。必ずフットレストのロックを確認してから正しい手順でやり直してください。

リクライニングや解除操作をした後は、必ずロック確認

リクライニングハンドルを押し引きして確認してください。

フットレスト持ち上げ操作や解除操作をした後は、必ずロック確認

フットレスト持ち上げハンドルを押し引きして確認してください。

椅子上部を移動させるとき以外は、移動ストッパー解除レバーに絶対に触れない

レバーに介助者の衣服やタオルなどが、からまないように注意してください。

椅子上部が分離して脱落する恐れがあります。

枕の調節はゆっくりと行い、必ずロックを確認

ロックされていないとの高さや角度が急に変わり、入浴者にショックをあたえる恐れがあります。

車椅子の移動

⚠ 警告

車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意

キャスターが隙間等に挟まると、車椅子が傾いたり、転倒する恐れがあります。

傾斜のきつい浴室床面やグレーチング上に停止させない

ロックがされていても動いたり、滑って転倒する恐れがあります。

⚠ 注意

車椅子を移動するときは、周囲に注意しながらゆっくりと移動させる

- 周囲に他の入浴者や障害物がないことを必ず確認し、浴槽や壁にぶつけないようにしてください。また、入浴者を車椅子から降ろして移動するときなどに車椅子が接触すると、けがをする恐れがあります。
- 入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。段差を乗り越える場合は、一旦停止してから前輪、後輪とキャスターを持ち上げるように押して、通過してください。

車椅子上下ロック解除レバーに注意

移動の際、レバーに物をぶつけたり、絡ませたりするとロックが故障して、車椅子上下の分離ができなくなったり、ロック不十分となり入浴者が落下する恐れがあります。

車椅子を移動するとき、介助者の足先に注意

後方へ引くように移動すると、介助者の足先が椅子フレームの下側に入り込む場合がありますのでご注意ください。

その他の注意

⚠ 注意

安全ベルトの損傷に注意

ほころび始めたり、切れかかってきたり、マジックベルトの接合力が弱くなってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

マットの損傷に注意

古くなって破れたり、マット止めピンがマットから浮き出してきたら、新しいものと交換してください。マット止めピンの浮き出した部分で、入浴者がけがをする恐れがあります。

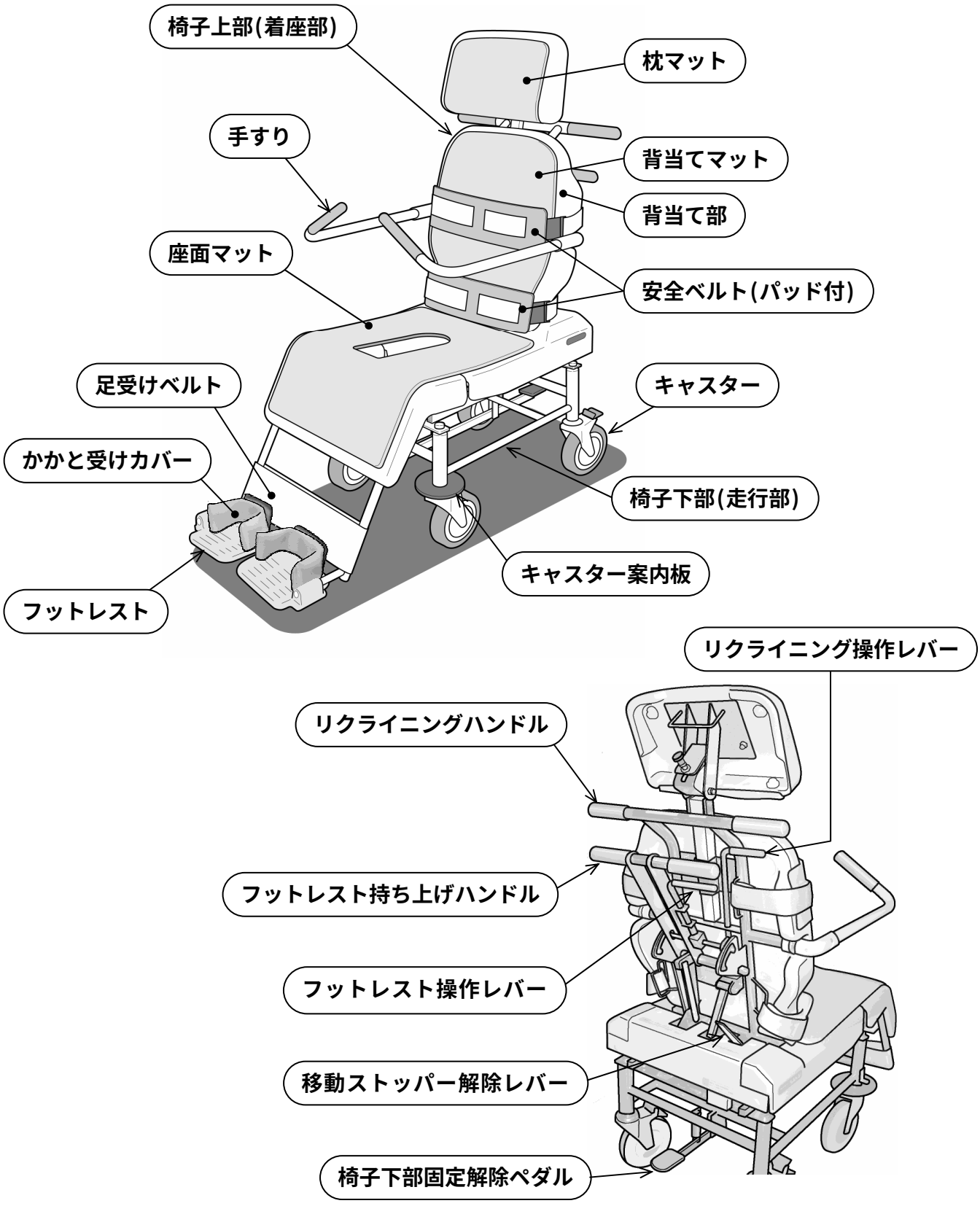
この製品は、一部に天然ゴムを使用しています

かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

納入時のビニールカバーは破棄する

製品にかけて使用すると錆など発生しやすくなりますので、絶対に使用しないでください。

各部の名称


椅子上部(着座部)
枕マット
手すり
背当てマット
背当て部
座面マット
安全ベルト(パッド付)
足受けベルト
キャスター
かかと受けカバー
椅子下部(走行部)
キャスター案内板
フットレスト
リクライニング操作レバー
リクライニングハンドル
フットレスト持ち上げハンドル
フットレスト操作レバー
移動ストッパー解除レバー
椅子下部固定解除ペダル

ご使用になる前に

ご使用前に本製品について、P.16 **始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

適用製品

本製品は、当社リフト式入浴装置『ライナーリフト(フロントアプローチタイプ)』専用の入浴用車椅子です。入浴については、必ずライナーリフトとの組み合わせで使用してください。リフトの操作方法については、『ライナーリフト (フロントアプローチタイプ) 』の取扱説明書をお読みください。

本製品による入浴のできない方

椅子に座った状態を独力で維持できない方や、椅子の上で前方や左右に極端に寄り掛かった状態や、片寄って座った状態となる方は、本製品による入浴はできません。

●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

操作方法

キャスターのロック及び解除

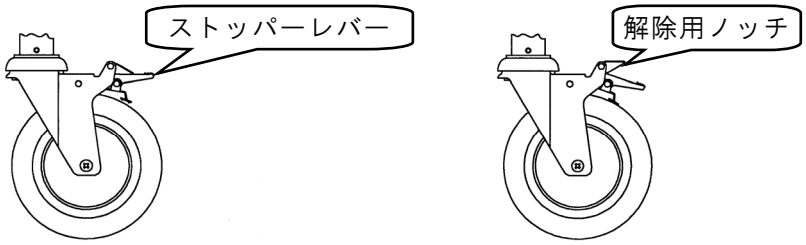
ロック

後部２輪のキャスターストッパーを踏みます。

移乗作業、洗身作業、清拭作業時等のように入浴用車椅子上で作業をするときは、必ずロックを掛けてください。

解除

解除用ノッチを踏みます。



⚠警告　停止しているときは、必ず２つのキャスターをロックする

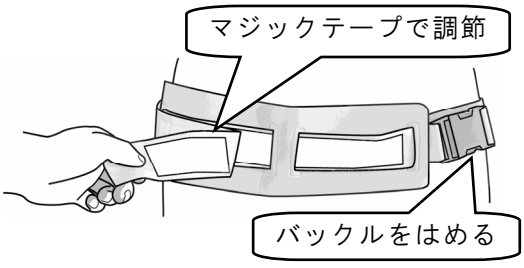
ロックされていないと、車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

傾斜のきつい浴室床面やグレーチング上に停止させない

滑って転倒する恐れがあります。

安全ベルト

車椅子へ入浴者を移乗させたら安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせマジックテープで長さを調節します。２か所のパッド付き安全ベルトを着用して調節してください。



⚠警告　車椅子に乗せたら、必ず２本の安全ベルトを着用する

ベルトでの固定が適切でないと、入浴者が落下してけがをする恐れがあります。

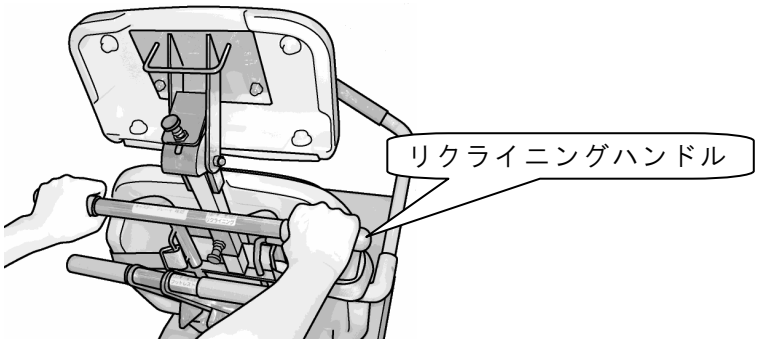
安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

ベルトを外すと、入浴者が落下する恐れがあります。

⚠注意　安全ベルトの損傷に注意

入浴用車椅子の移動

車椅子の移動は、キャスターのロックを解除し、リクライニングハンドルを握って行います。



◎ 背当てを倒したときもリクライニングハンドルを握って移動させます。

⚠警告　車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意

キャスターが隙間等に挟まると、車椅子が傾いたり転倒する恐れがあります。

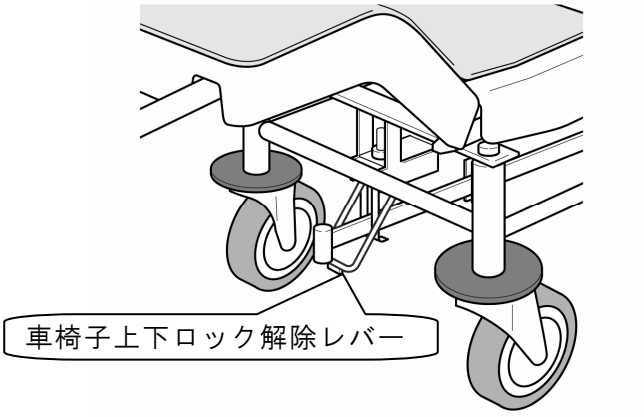
⚠注意　・車椅子を移動するときは、周囲に注意

周囲に別の入浴者や障害物がないことを必ず確認してください。

・車椅子の移動は、ゆっくりと

・車椅子上下ロック解除レバーに注意

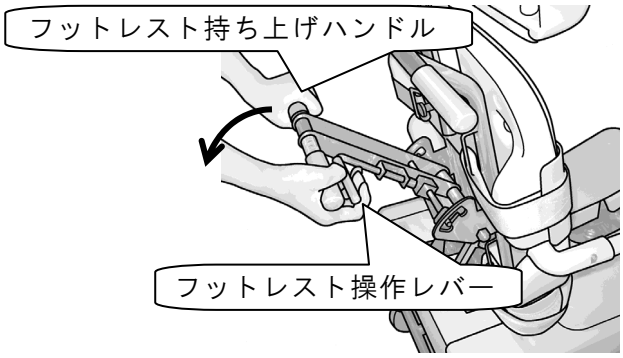
移動の際、レバーに物をぶつけたり、絡ませたりするとロックが故障する恐れがあります。

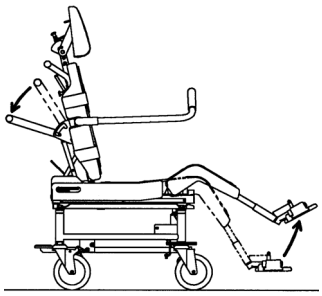


背当てを倒すとき

①フットレスト持ち上げ操作

1 フットレスト持ち上げハンドルを両手で握ります。
2 右側のハンドル下にあるフットレスト操作レバーを指で引き、ハンドルを下方へ押し下げます。
3 右手の指をレバーから離して定位置までハンドルを押し下げるとロックされます。

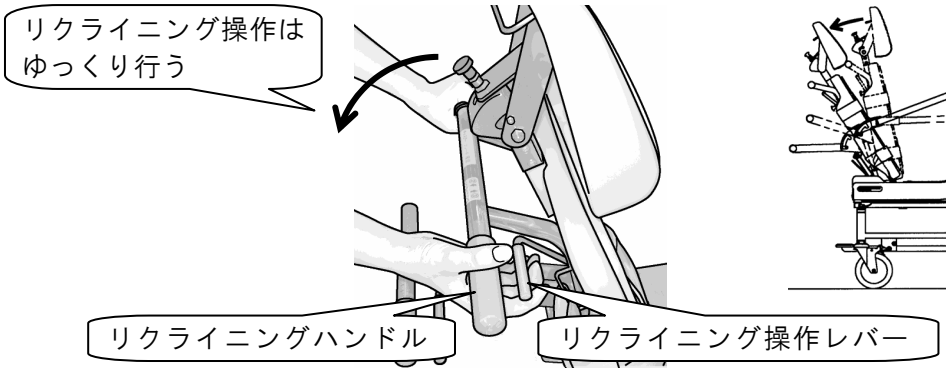


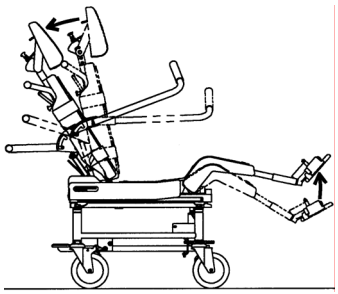


⚠注意　フットレスト持ち上げ操作をしたあとは、必ずロックを確認

②リクライニング操作

1 リクライニングハンドルを両手で握ります。
2 手前へ引きぎみにしてリクライニング操作レバーを指で引き、ハンドルを下方へ倒します。
3 右手の指をレバーから離して定位置までハンドルを倒すとロックされます。



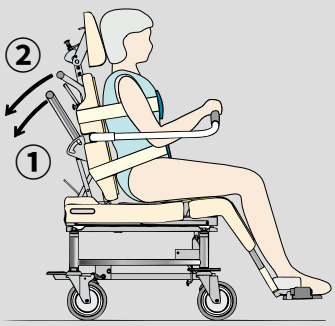


⚠注意　リクライニング操作をしたあとは、必ずロックを確認

⚠手順に注意

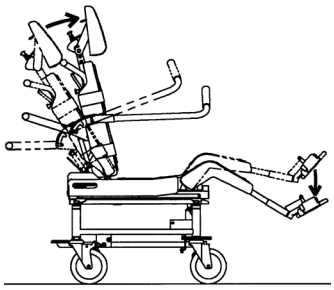
①フットレスト持ち上げ操作→②リクライニング操作

先に②リクライニング操作を行うと、ロックがはずれたまま途中で止まることがあります。リクライニングのロックを確認して、正しい手順で操作してください。



背当てを起こすとき

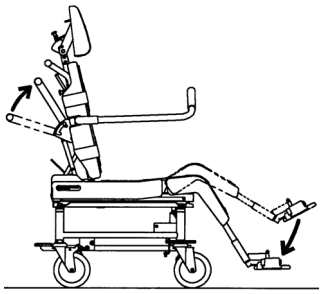
③リクライニング解除操作



1 リクライニングハンドルを両手で握ります。
2 リクライニング操作レバーを指で引き、ハンドルを上方へ上げます。
3 右手の指をレバーから離して定位置までハンドルを上方へ上げると口ックされます。

⚠注意　リクライニング解除操作をしたあとは、必ずロックを確認

④フットレストの解除操作

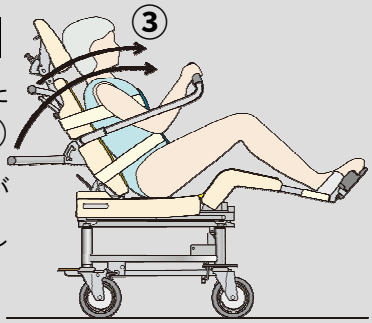


1 フットレスト持ち上げハンドルを両手で握ります。
2 下方へ押しぎみにして右側のハンドル下にあるフットレスト操作レバーを指で引きます。
3 ハンドルが上がってきたら右手の指をレバーから離します。定位置までハンドルが上がると口ックされます。

⚠注意　フットレストの解除操作をしたあとは、必ずロックを確認

⚠手順に注意

③リクライニング解除操作→④フットレストの解除操作

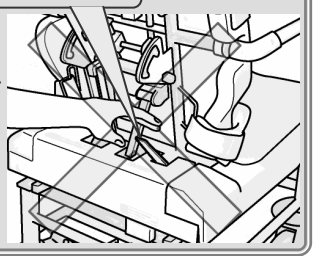


先に④フットレストの解除操作を行うと、ロックがはずれたまま途中で止まることがあります。
その後③リクライニング操作解除を行うとフットレストが勢いよく下がり危険です。フットレストのロックを確認して、正しい手順で操作してください。

移動ストッパー解除レバー

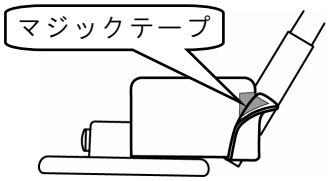
移動ストッパー解除レバーは本体リフト連結後の入浴操作時に使用しますが、それ以外のときには、触れないでください。椅子上部が脱落する恐れがあります。

⚠注意　椅子上部を移動させるとき以外は、移動ストッパー解除レバーに絶対に触れない



レバーに介助者の衣服やタオルなどが、からまないように注意してください。
椅子上部が分離して脱落する恐れがあります。

かかと受けカバー



フットレスト部のかかと受けカバーは取り外して洗浄･乾燥作業を行うことができます。

手すりの操作

片側の手すりを跳ね上げて、移乗等をします。移乗と反対側の手すりは水平のままにしてください。

手すりをはね上げるときは、入浴者の顔に手すりが当たらないように、必ずグリップ部を外側に回転させたままの状態で上方へ上げます。(手を離すと内側へ回転します)

はね上げた手すりを降ろすときも同様に操作します。

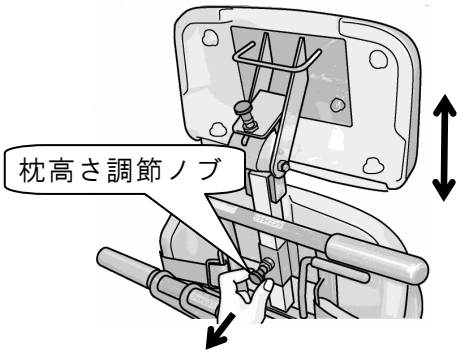
⚠警告　車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせる

握っていないと上肢が車椅子の外側に出て入浴時などにけがをする恐れがあります。

枕の操作

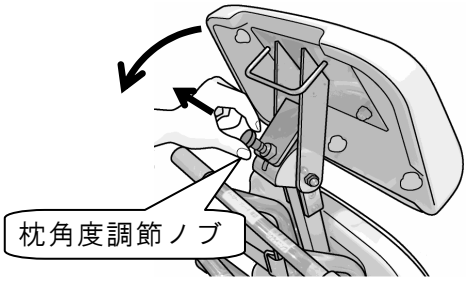
高さ調節

枕高さ調整ノブを引いて枕をスライドさせます。3㎝毎にノブが戻りロックされます。
枕は3段階の高さ調節ができます。



角度調節

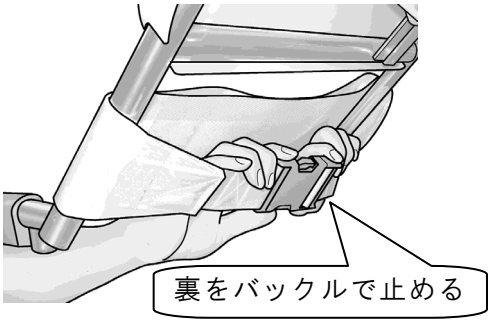
枕角度調整ノブを引いて枕を倒します。ノブから指を離すと20度毎にノブが戻りロックされます。
枕は3段階の角度調節ができます。

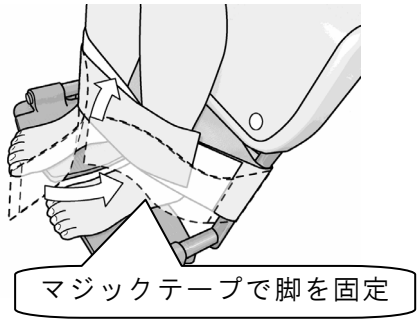


⚠注意　枕の調節はゆっくりと行い、必ずロックを確認

足受けベルト取付方法

足受けベルトを洗浄・乾燥作業を行うためにはずした場合は、図のように再度取り付けてください。





椅子上下の連結について

1　入浴が終了したら、車椅子上部を出浴させる前に、椅子下部 (走行台車) がリフトにセットされていること、及びキャスターがロックされていることを確認してから椅子上下を連結させます。

2　椅子下部の赤いマークが完全に見えなくなるまで引き出します。(図 1)
赤いマークが見えているときは、連結が不完全です。(図 2)

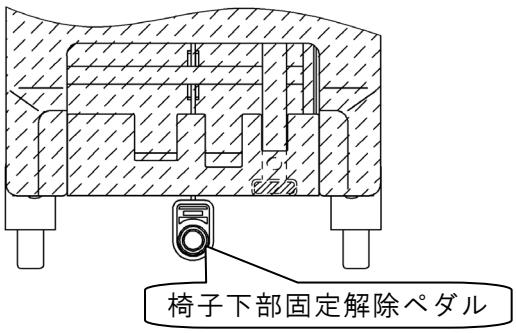


図 1
連結完了

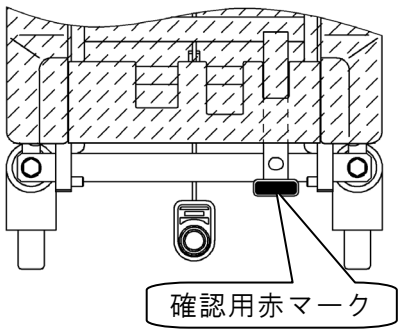


図 2
連結不完全

3　連結を確認した後、リフトから車椅子を離します。

⚠警告　連結は赤いマークで確認すること

赤いマークが見える場合は、椅子上部をスライド台へ一旦戻して、椅子下部をリフトに確実にセットし直してください。

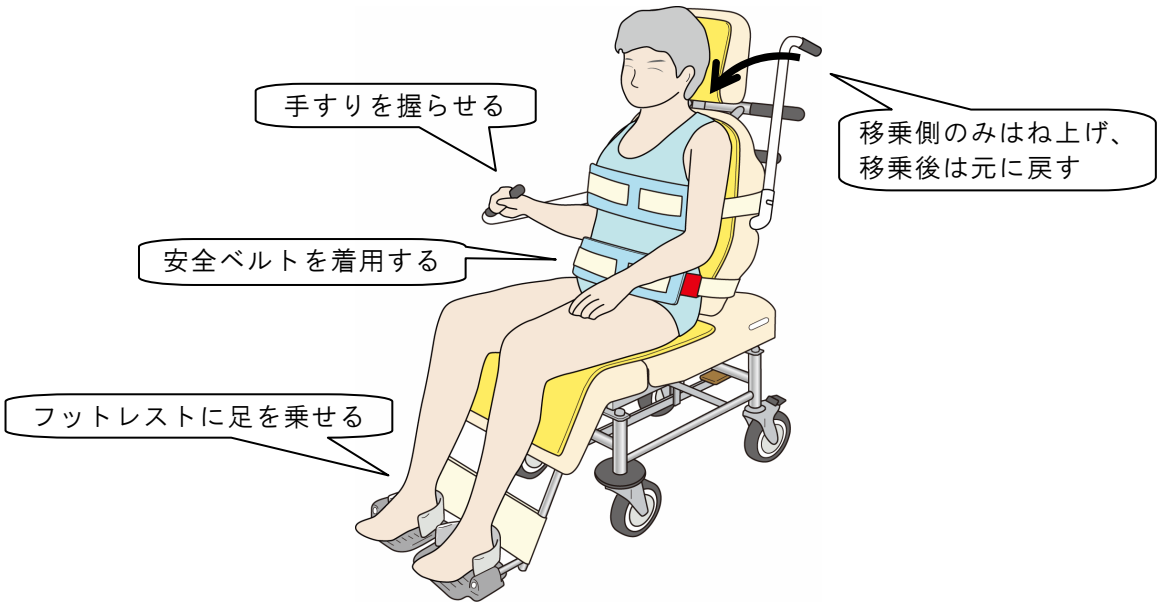
車椅子上の作業手順と注意点

入浴用車椅子へ入浴者を移乗させるとき

1 入浴用車椅子を平らな安全な床面に停止させキャスターのロックを掛けます。

2 移乗する側の手すりをはね上げます。移乗と反対側の手すりは、水平状態のままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。

3 移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用して、手すりを元に戻して握らせてからリクライニング操作と車椅子の移動をします。



入浴用車椅子上で洗髪・洗身を行うとき

1 必ずキャスターのロックが掛かっていることを確認します。

2 入浴者の状態に十分注意しながらリクライニング角度をゆっくり調整します。（P.10「背当を倒すとき」参照）

3 頭部に無理な力をかけたり、足を持ち上げたりすると転倒や落下する恐れがあります。

4 狭い入浴用車椅子上での体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら注意深く行います。

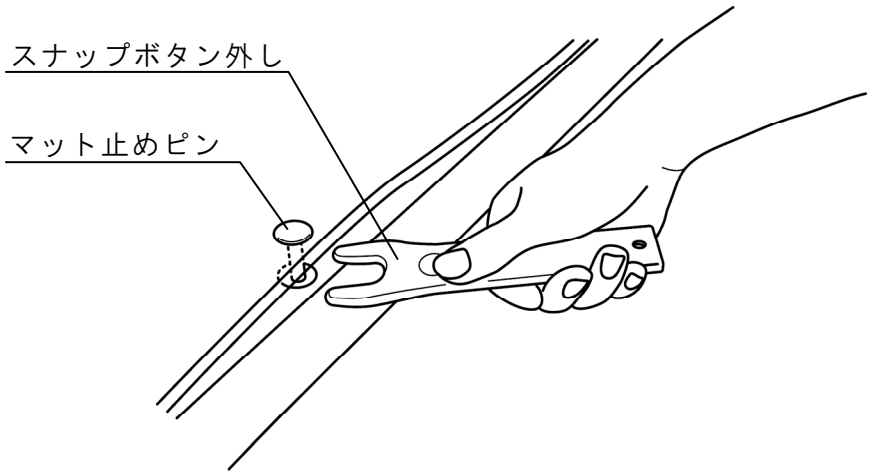
5 安全ベルトは、少し余裕をもった長さに調節して、必ず着用します。

警告　入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意

狭い車椅子上での作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。十分注意して作業を行ってください。

お手入れの仕方

- 本機のカバー類は、プラスチック製です。たわし等で擦りますと傷がつきますので、雑巾等の柔らかい物でふいてください。
- 使用後、本機に付いた水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなりますので、乾いた布できれいに拭き取ってください。
- 椅子のマットを外す場合には、マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込むとマット止めピンが外れます。マットを取り付ける場合には、マット止めの穴にピンを差し込んで押してください。



注意　マットの損傷に注意

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	マットの破れ及びマット止めピンのはずれ	目視 (ピンが穴から単に抜け出しているだけのときは押し込んでください)
	安全ベルトのほつれ、バックルの破損	目視 及び、触って確認
	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し、車輪の摩耗	目視
	枕・手すり・足受の緩み、ガタつき	目視
機能	キャスターの動き	方向･回転ともスムーズに動くことを確認
	キャスターのロック	キャスターストッパーをロック方向に踏んでキャスターの回転と首振りのロックを確認
	リクライニングのロック	背当て部をロックさせ、力を加えてロックが外れないか確認
	椅子上下の連結ロック	ロックを解除した後再びロックさせ、力を加えてロックが外れないか確認

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書(別添)はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレーム及び FRP 部品は 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*LL-319C*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決して分解しないでください。

✹ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

✹ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約 2 年**のもの。

  マット(止めピン付) / 安全ベルト / 足受けベルト / かかと受けカバー
- 正常な使用において、交換の目安が**約 3 年**のもの。

  キャスター / 手すりグリップカバー

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

仕 様

入浴用車椅子：LL-319C

外形寸法		1345(L)×525(W)×1250(H)mm ※最大寸法表記　(L):リクライニング時,(H):通常座位時
質　　量		約 44 kg
材質	フレーム	ステンレス
	座面・背もたれ部	プラスチック（合成ゴム製マット付）
	手　す　り	ステンレス（グリップ付）
	フットレスト	プラスチック
キャスター		φ150 mm（後２輪はストッパー付），本体：ステンレス
機能構成		・上下分離構造　・ハーフリクライニング式 ・腹部安全ベルト　・胸部安全ベルト ・高さ及び角度調節式枕